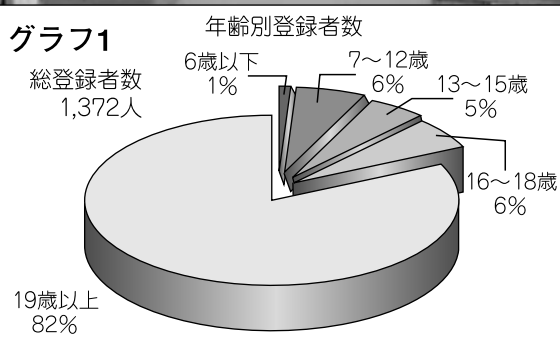


読書のすすめ



皆さんの生活の一部になっている「読書」。その読書ライフのお手伝いをさせて頂いている図書館から、今月と来月の2回にわたって図書館のいろんな情報をお届けします。

子どもと読書

近年、いろいろな調査で「子どもが本を読まなくなった」という報告がされますが、小野町の子どもたちはどうなのでしょう。

図書館で登録をしている子ども（18歳）の数は現在1,372人です。（グラフ1）また昨年1年間の子どもへの貸出総数は16,430点（グラフ2）になります。これは単純に計算すると、一人当たり、12点の貸出をしたこととなります。

この貸出の数字だけで見ると1カ月に1冊も本を読まないと言われる状況の中で、小野町の子どもたちはたくさん本を読んでいると考えられます。

しかし、読書力の低下が問題視されている事実から目を背けることは出来ません。読書力の低下は必然的に国語力・考える力の低下に繋がります。

子どもたちのみならず社会の多様化で読書の機会がどんどん減ってきています。

そこで、図書館では子どもたちにもっと読書の楽しみを知ってもらうために「おはなし会」を行っています。

耳からの読書

なかなか本と出会う機会の少ない子どもたちのために、図書館では**耳からの読書**である「おはなし会」を行っています。

図書館で行っているおはなし会は、毎月定期的に図書館で開催している乳幼児対象の「ちびっこおはなし会」、小学生を対象に、職員が学校へ出向き行っ